

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 139

事務事業名	AED推進事業
-------	---------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	福祉保健部		
課名	国保けんこう課		
課長名	松永 龍二	内線	115
担当者名	尾上 典史	内線	152

基本目標		健康でいきいきと暮らせるまち
政策	020103	健康づくりの推進と医療体制の充実
施策		医療体制の充実
関連施策		

会計	一般会計	
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	1	保健衛生総務費
事業コード	020200	AED推進事業

事業類型	4	ソフト事業(任意)
個別計画		
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者) 誰(何)に対して事業を行うか	市民		
意図 対象をどのような状態にしたいか	心疾患やケガ等に伴う心室細動によって心臓が停止した場合に、自動体外式除細動器(AED)を使用し、電気ショックを与えることにより救命率を上昇させる。		
事業概要 意図を達成するために実施することは何か	市内に設置された自動体外式除細動器(AED)の情報を市民に周知するとともに、AEDの機能や正しい操作方法について講習会を開催する。 また、今後も市の公共施設で、特に激しい運動が行われる施設については計画的にAEDを設置していく。		
事業期間	平成 16 年度 ~ 平成 年度	実施方法	直営
根拠法令、要綱等			
国・県補助事業に係る本市単独施策	無		

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考	
活動指標 ①	市の公共施設への設置台数	計画値	79	79	79	79		
		実績値	79	79	79			
		達成度	100.0%	100.0%	100.0%			
活動指標 ②	操作講習会回数	計画値	3	3	3	3		
		実績値	3	3	3			
		達成度	100.0%	100.0%	100.0%			
成果指標 ①	操作講習会参加者数(市民)	計画値	40	40	40	30		
		実績値	30	38	22			
		達成度	75.0%	95.0%	55.0%			
	成果指標 ②	操作講習会参加者数(企業や団体)	計画値	80	80	80	80	
			実績値	83	99	80		
			達成度	103.8%	123.8%	100.0%		

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	939	1,346	1,587	1,849	1,958	1,958	1,958	0
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他	257	257	275	1,849	1,958	1,958	1,958	
一般財源	682	1,089	1,312	0	0	0	0	
② 人件費(千円)	795	1,002	1,068	1,111	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	0.10	0.13	0.15	0.15	AED管理、講習会開催	AED管理、講習会開催	AED管理、講習会開催	
時間外勤務(時間)		10	5	10				
嘱託等人数(人)								
フルコスト(①+②千円)	1,734	2,348	2,655	2,960				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	地域の拠点となる施設に設置していた、AEDを本体の保証期限到達にともない、3台をリース契約とすることで引き続き設置。(大村市斎場、シーハットおおむら、郡地区公民館) AEDの講習会については、ほぼ計画どおり実施できている。
事業が抱える問題・課題等	AEDは、市の公共施設にはほとんど設置されているが、未設置の地域の拠点となる施設、特に激しい運動が行われる施設について今後もAEDを設置していく必要がある。 また、AEDを操作できる市民を拡大していくことも重要である。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	AEDの使用制限が撤廃され、AEDを操作できる市民を拡大することは、市の重要な役割である。						
有効性	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	AEDの啓発を図るため、AEDを操作できる市民を拡大することは、市の重要な役割である。						
効率性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	AEDを使用した救命講習を市職員や事業所、また、一般市民を対象に行い、いざという時にAEDを使用できる市民を増やすことによって、心疾患やケガ等に伴う心室細動によって心臓が停止した場合の生存率が高くなることが期待される。						
効率性	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	AEDの設置個所の拡大と市民へのAED操作法の普及により、市民の安心・安全な生活に寄与している。						
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	AEDの推進は、市民の命を守るために重要な事業であるため、設置と維持管理は必要であり削減の余地はない。						
効率性	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入しておりません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	現状維持	
--------	------	--

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	市の公共施設にAEDはほとんど設置されているが、未設置の地域の拠点となる施設、特に激しい運動が行われる施設にAEDを設置する。 また、AED設置の拡大に併せ、講習会の開催によるAEDの操作法の普及に努める。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。